

その他の広告・あっせん業における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	18~19	業務中の移動の際に信号にて停車中に後方より追突され、その衝撃により前方の車に追突した。（玉突き事故。）車両はつぶれ、全身を強く打つ。	42	—
3	22~23	バス車内ポスター着脱の夜間作業途中、バス車内の段差を下りる際に踏み外し、後方へ転倒して背中左部分（肋骨）を強打し、左肋骨8番~12番の5本を骨折した。	71	10~29
7	9~10	被災運転者は航空燃料送油沿線を車両巡回中、交差する道路を横断する際に一時停止の標識に従い停止線で停止した後、前方に設置されたミラーで左右を確認しようとしたが右側が見えなかったため注意をしてゆっくりと前進して右側を確認しようとしたら、回送路線バスが迫って来ており回避する間もなく衝突し負傷したもの。	49	100~299
7	10~11	事務所近くの幹線道路に入る交差点内にて自己所有車にて業務外出中、信号が青に変わってから交差点に進入後、左方から信号無視で車が突入し、衝突。	35	1~9
7	12~13	運転手である課長の車に同乗（助手席後部座席）中、課長が方向転換する際に、バックにて左側がガードレールに激突した。	48	30~49
9	16~17	営業活動の為移動中、信号手前で渋滞の為、停車中に後方より追突された。	29	30~49
10	10~11	駐車場に三輪バイクで進入した際、前方のワゴン車がバックを始めたので避けようとして下がったが、ワゴン車のスピードが速くて避けきれず、ワゴン車の左前輪にまき込まれて転倒した。	40	10~29

12	16~17	踏切待ちで停車していたところ、後方から走行して来た脇見運転の車両に追突され、はずみで自車前方の車両に追突した。	53	30 ~ 49
12	14~15	営業に向かうため、公園付近をバイクで走行中（時速約20km）、疲れ等からぼーっとして前方不注意の運転となり、そのまま左のガードレールに衝突した。衝突により、バイクとともに右側に倒れて負傷した。なお、他者との接触はなかった。	24	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html